

滋賀県の産業振興についてのアンケート結果

県では、「滋賀県産業振興ビジョン2030」（令和2年3月策定）に基づき、産業振興施策を進めているところです。

このたび今後の産業振興施策に活かしていくため、県政モニターによるアンケート調査を実施しました。

★調査時期：令和2年6月

★対象者：県政モニター399人

★回答数：353人（回収率88.5%）

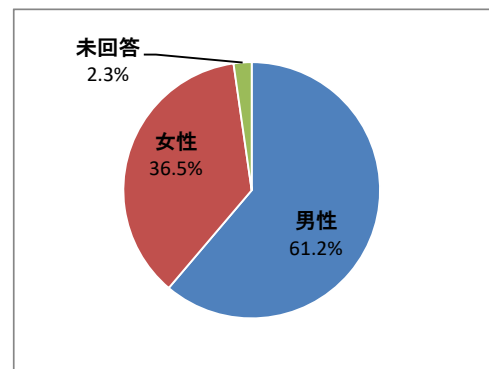
★担当課：商工観光労働部 商工政策課

※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。

【属性】

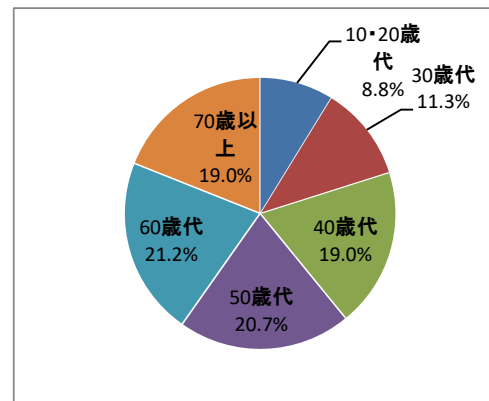
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	216	61.2%
女性	129	36.5%
未回答	8	2.3%
合計	353	100.0%



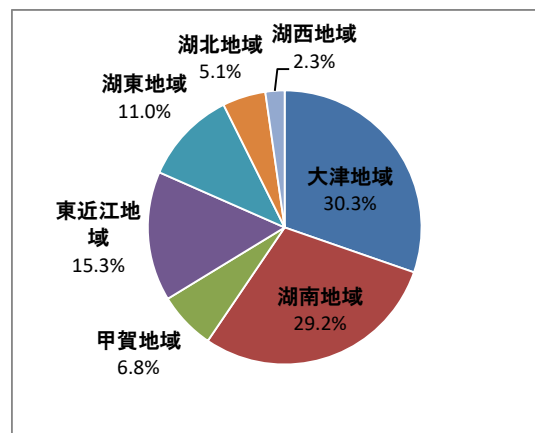
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	31	8.8%
30歳代	40	11.3%
40歳代	67	19.0%
50歳代	73	20.7%
60歳代	75	21.2%
70歳以上	67	19.0%
合計	353	100.0%



◆地域

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	107	30.3%
湖南地域	103	29.2%
甲賀地域	24	6.8%
東近江地域	54	15.3%
湖東地域	39	11.0%
湖北地域	18	5.1%
湖西地域	8	2.3%
合計	353	100.0%

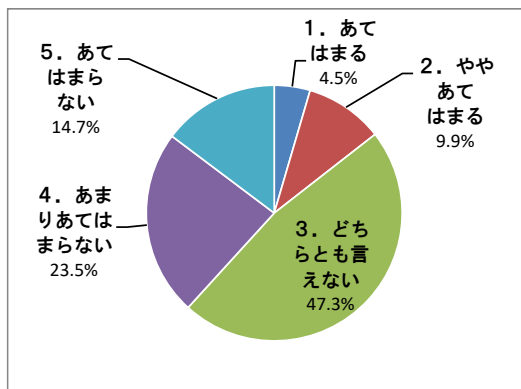


【問1】 あなたご自身の暮らし向きについてお尋ねします。
 次の(1)～(3)の項目について、あてはまるものをお選びください。

【問1】(1) 1年前と比べて、自分の世帯の暮らし向きは良くなってきた。

(回答チェックは1つだけ。 n=353)

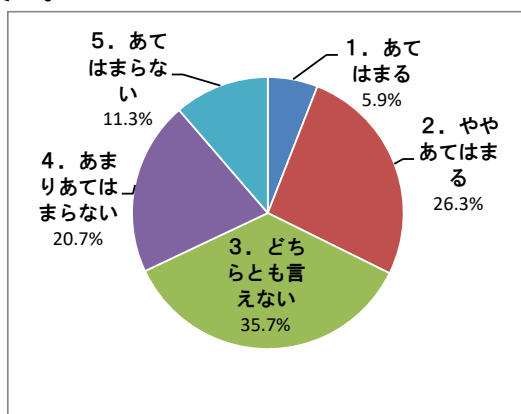
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	16	4.5%
2. ややあてはまる	35	9.9%
3. どちらとも言えない	167	47.3%
4. あまりあてはまらない	83	23.5%
5. あてはまらない	52	14.7%
合計	353	100.0%



【問1】(2) 現在の自分の世帯の暮らし向きは良い。

(回答チェックは1つだけ。 n=353)

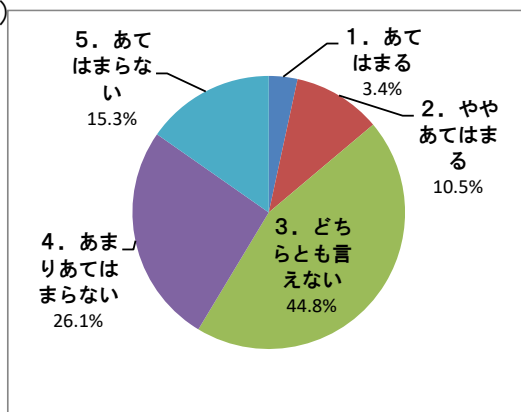
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	21	5.9%
2. ややあてはまる	93	26.3%
3. どちらとも言えない	126	35.7%
4. あまりあてはまらない	73	20.7%
5. あてはまらない	40	11.3%
合計	353	100.0%



【問1】(3) 1年後の自分の世帯の暮らし向きは、現在に比べて良くなりそう。

(回答チェックは1つだけ。 n=353)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	12	3.4%
2. ややあてはまる	37	10.5%
3. どちらとも言えない	158	44.8%
4. あまりあてはまらない	92	26.1%
5. あてはまらない	54	15.3%
合計	353	100.0%



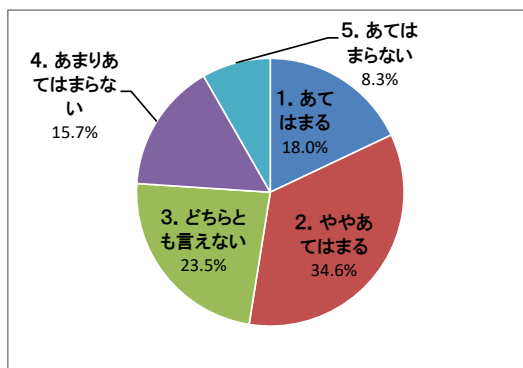
【問2】 就労されている方にお尋ねします。

次の(1)～(5)の項目について、あてはまるものをお選びください。

【問2】(1) 自分の仕事にやりがいや充実感を感じている。

(回答チェックは1つだけ。 n=217)

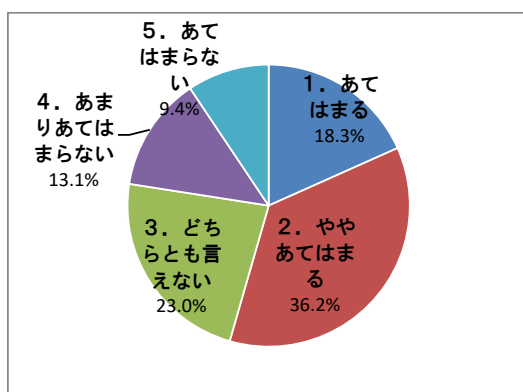
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	39	18.0%
2. ややあてはまる	75	34.6%
3. どちらとも言えない	51	23.5%
4. あまりあてはまらない	34	15.7%
5. あてはまらない	18	8.3%
合計	217	100.0%



【問2】(2) 仕事と生活のバランスが取れている。

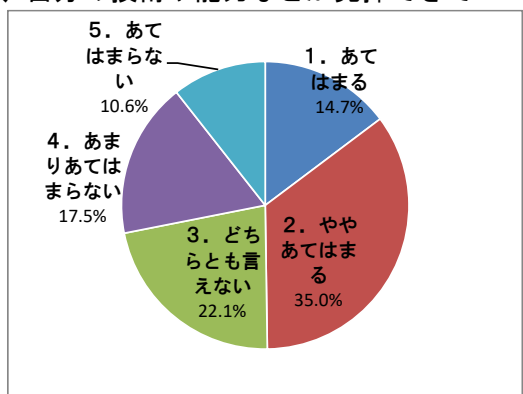
(回答チェックは1つだけ。 n=213)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	39	18.3%
2. ややあてはまる	77	36.2%
3. どちらとも言えない	49	23.0%
4. あまりあてはまらない	28	13.1%
5. あてはまらない	20	9.4%
合計	213	100.0%



【問2】(3) 仕事をはじめ社会的な生活を営む上で、自分の技術や能力などが発揮できている。(回答チェックは1つだけ。 n=217)

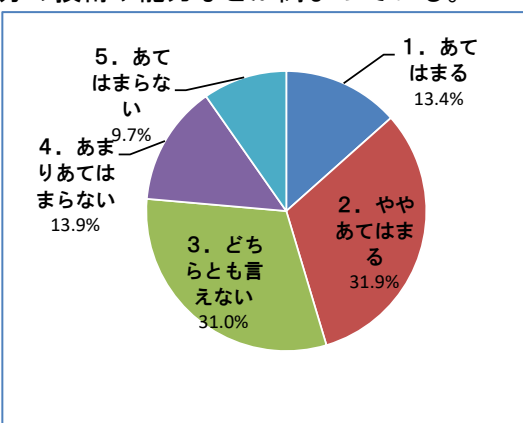
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	32	14.7%
2. ややあてはまる	76	35.0%
3. どちらとも言えない	48	22.1%
4. あまりあてはまらない	38	17.5%
5. あてはまらない	23	10.6%
合計	217	100.0%



【問2】(4) 仕事をはじめ社会的な生活を通じて、自分の技術や能力などが高まっている。

(回答チェックは1つだけ。 n=216)

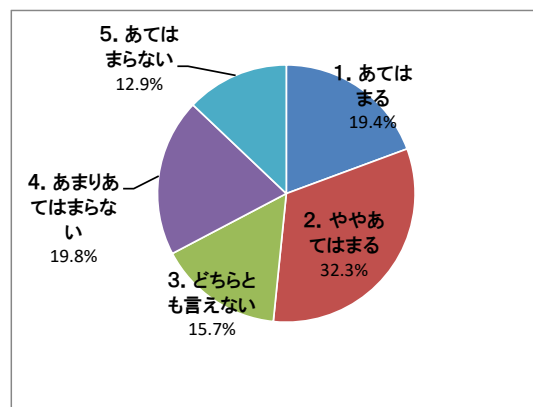
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	29	13.4%
2. ややあてはまる	69	31.9%
3. どちらとも言えない	67	31.0%
4. あまりあてはまらない	30	13.9%
5. あてはまらない	21	9.7%
合計	216	100.0%



【問2】(5) 仕事や就業に役立てるための学びや自己啓発を行っている。

(回答チェックは1つだけ。 n=217)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	42	19.4%
2. ややあてはまる	70	32.3%
3. どちらとも言えない	34	15.7%
4. あまりあてはまらない	43	19.8%
5. あてはまらない	28	12.9%
合計	217	100.0%



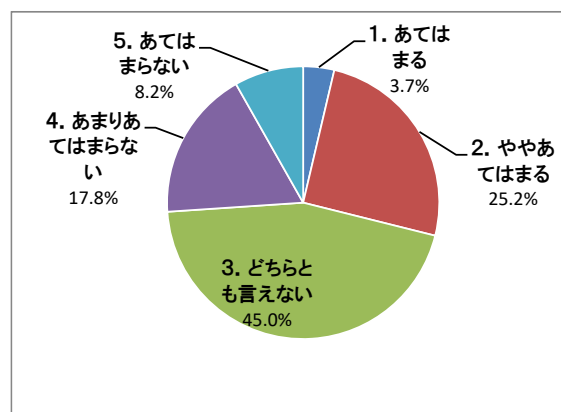
【問3】 お住まいの市・町での労働環境について、お尋ねします。

次の(1)～(2)の項目について、あてはまるものをお選びください。

【問3】(1) お住まいの市・町では、働く意欲がある人たちの雇用が確保されている。

(回答チェックは1つだけ。 n=353)

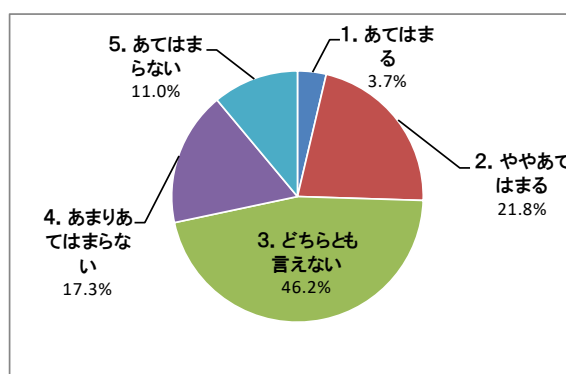
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	13	3.7%
2. ややあてはまる	89	25.2%
3. どちらとも言えない	159	45.0%
4. あまりあてはまらない	63	17.8%
5. あてはまらない	29	8.2%
合計	353	100.0%



【問3】(2) お住まいの市・町では、年齢や性別にかかわらず、働きやすい環境が整っている。

(回答チェックは1つだけ。 n=353)

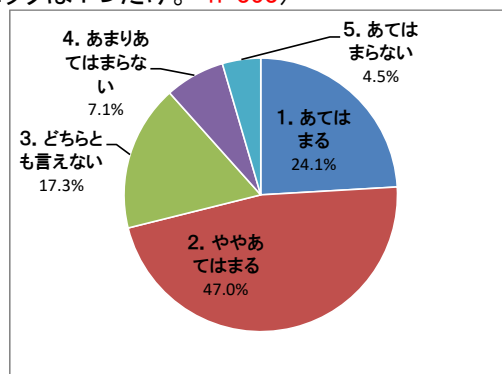
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	13	3.7%
2. ややあてはまる	77	21.8%
3. どちらとも言えない	163	46.2%
4. あまりあてはまらない	61	17.3%
5. あてはまらない	39	11.0%
合計	353	100.0%



【問4】 県内やお住まいの市・町の自然、歴史・文化、観光について、お尋ねします。
次の（１）～（７）の項目について、あてはまるものをお選びください。

【問4】(1)お住まいの市・町に誇りや愛着を感じる。（回答チェックは1つだけ。 n=353）

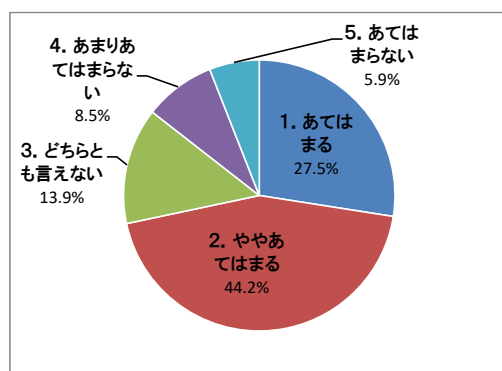
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	85	24.1%
2. ややあてはまる	166	47.0%
3. どちらとも言えない	61	17.3%
4. あまりあてはまらない	25	7.1%
5. あてはまらない	16	4.5%
合計	353	100.0%



【問4】(2)県内の自然・歴史・文化的なスポットを訪れている。

(回答チェックは1つだけ。 n=353)

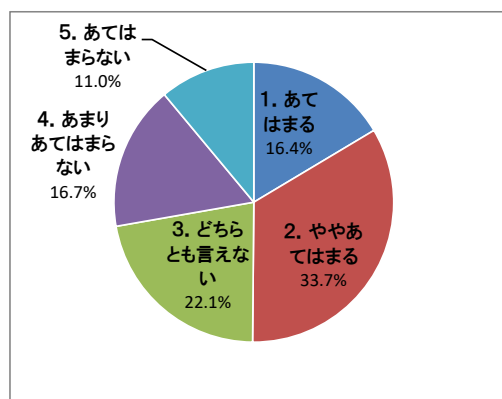
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	97	27.5%
2. ややあてはまる	156	44.2%
3. どちらとも言えない	49	13.9%
4. あまりあてはまらない	30	8.5%
5. あてはまらない	21	5.9%
合計	353	100.0%



【問4】(3)県内の自然・歴史・文化的なスポットについて、県外の人にその良さを広めている。

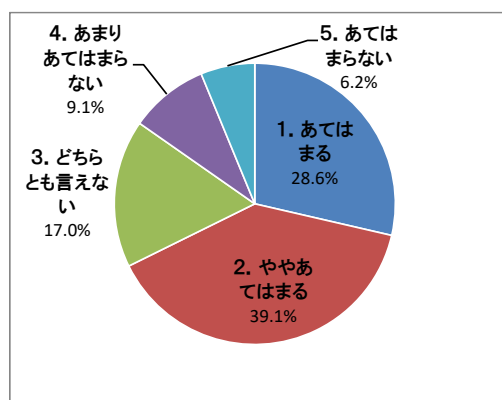
(回答チェックは1つだけ。 n=353)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	58	16.4%
2. ややあてはまる	119	33.7%
3. どちらとも言えない	78	22.1%
4. あまりあてはまらない	59	16.7%
5. あてはまらない	39	11.0%
合計	353	100.0%



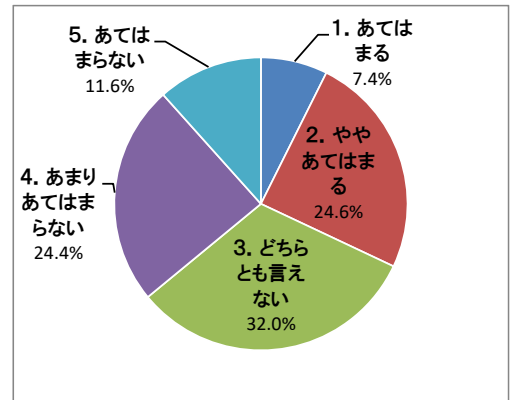
【問4】(4)お住まいの市・町には、自慢したい地域の「宝」(自然資源、歴史・文化資源、伝統産業など)がある。(回答チェックは1つだけ。 n=353)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	101	28.6%
2. ややあてはまる	138	39.1%
3. どちらとも言えない	60	17.0%
4. あまりあてはまらない	32	9.1%
5. あてはまらない	22	6.2%
合計	353	100.0%



【問4】(5)お住まいの市・町では、これらの「宝」やスポットが産業振興に活かされている。(回答チェックは1つだけ。 n=353)

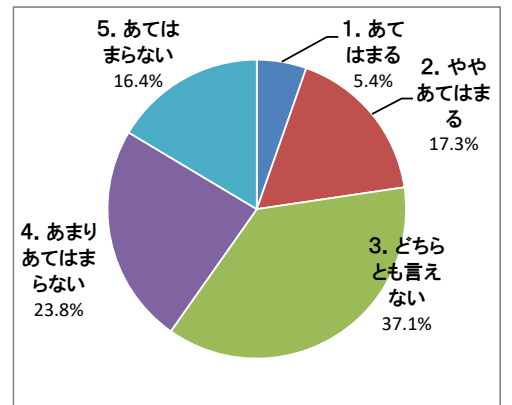
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	26	7.4%
2. ややあてはまる	87	24.6%
3. どちらとも言えない	113	32.0%
4. あまりあてはまらない	86	24.4%
5. あてはまらない	41	11.6%
合計	353	100.0%



【問4】(6)お住まいの市・町では、観光などの訪問客が増えている。

(回答チェックは1つだけ。 n=353)

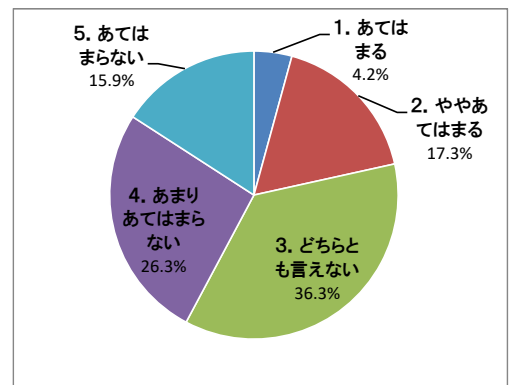
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	19	5.4%
2. ややあてはまる	61	17.3%
3. どちらとも言えない	131	37.1%
4. あまりあてはまらない	84	23.8%
5. あてはまらない	58	16.4%
合計	353	100.0%



【問4】(7)お住まいの市・町では、訪問客を受入れる体制が整っている。

(回答チェックは1つだけ。 n=353)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	15	4.2%
2. ややあてはまる	61	17.3%
3. どちらとも言えない	128	36.3%
4. あまりあてはまらない	93	26.3%
5. あてはまらない	56	15.9%
合計	353	100.0%

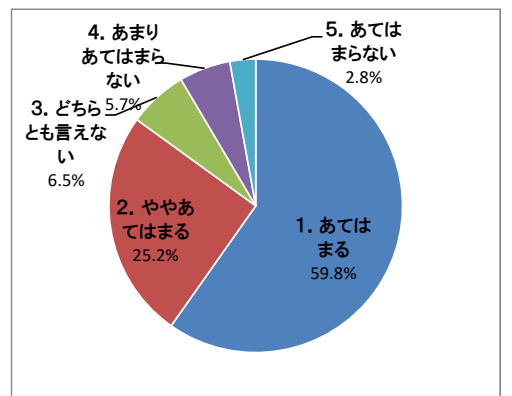


【問5】 お住まいの市・町の生活環境について、お尋ねします。
次の(1)～(6)の項目について、あてはまるものをお選びください。

【問5】(1)食品や日用品の購入は、地元の商店街やスーパーを利用している。

(回答チェックは1つだけ。 n=353)

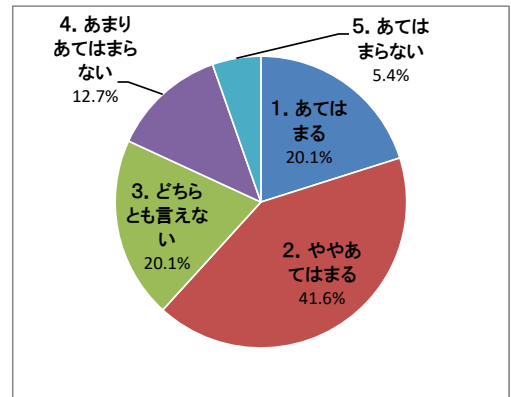
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	211	59.8%
2. ややあてはまる	89	25.2%
3. どちらとも言えない	23	6.5%
4. あまりあてはまらない	20	5.7%
5. あてはまらない	10	2.8%
合計	353	100.0%



【問5】(2)お住まいの市・町や県内でとれたものを意識して買っている。

(回答チェックは1つだけ。 n=353)

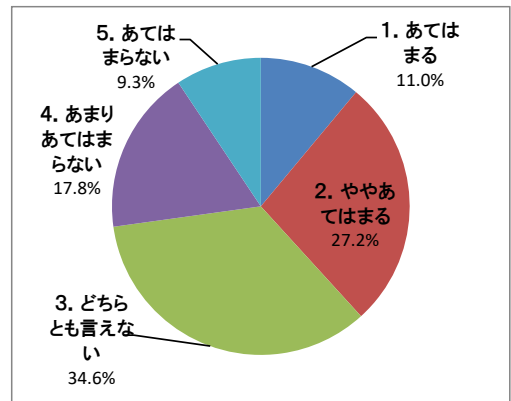
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	71	20.1%
2. ややあてはまる	147	41.6%
3. どちらとも言えない	71	20.1%
4. あまりあてはまらない	45	12.7%
5. あてはまらない	19	5.4%
合計	353	100.0%



【問5】(3)遊びやレクリエーションは、主にお住まいの市・町内で行っている。

(回答チェックは1つだけ。 n=353)

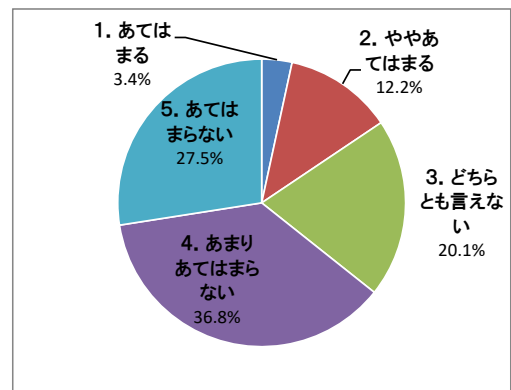
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	39	11.0%
2. ややあてはまる	96	27.2%
3. どちらとも言えない	122	34.6%
4. あまりあてはまらない	63	17.8%
5. あてはまらない	33	9.3%
合計	353	100.0%



【問5】(4)お住まいの市・町の駅前や商店街には活気がある。

(回答チェックは1つだけ。 n=353)

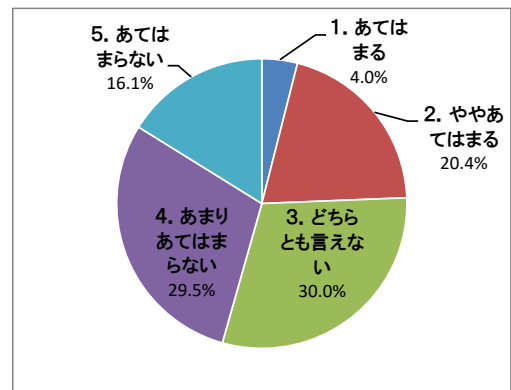
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	12	3.4%
2. ややあてはまる	43	12.2%
3. どちらとも言えない	71	20.1%
4. あまりあてはまらない	130	36.8%
5. あてはまらない	97	27.5%
合計	353	100.0%



【問5】(5)お住まいの市・町には、学びや自己啓発を行うことができる場所が充実している。

(回答チェックは1つだけ。 n=353)

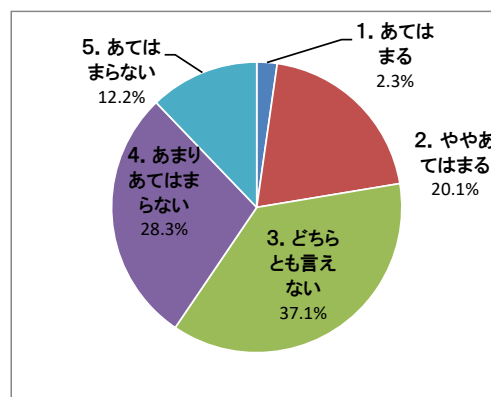
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	14	4.0%
2. ややあてはまる	72	20.4%
3. どちらとも言えない	106	30.0%
4. あまりあてはまらない	104	29.5%
5. あてはまらない	57	16.1%
合計	353	100.0%



【問5】(6)お住まいの市・町には、地元の産品を取り扱ったり、介護や子育てなど地域の課題を解決してくれる企業が充実している。

(回答チェックは1つだけ。 n=353)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	8	2.3%
2. ややあてはまる	71	20.1%
3. どちらとも言えない	131	37.1%
4. あまりあてはまらない	100	28.3%
5. あてはまらない	43	12.2%
合計	353	100.0%

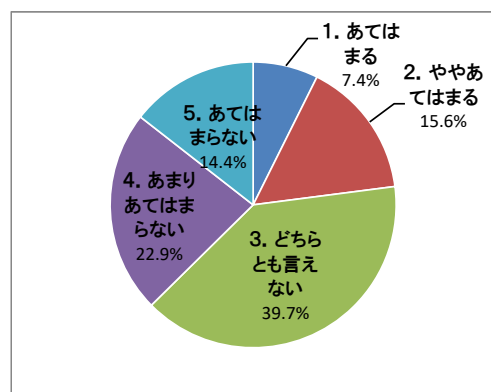


【問6】 お住まいの市・町の”新しいものを生み出す力”について、お尋ねします。次の(1)～(2)の項目について、あてはまるものをお選びください。

【問6】(1) あなたご自身やお勤め先には、新しい事業や新しい商品・サービスのアイデアがある。

(回答チェックは1つだけ。 n=353)

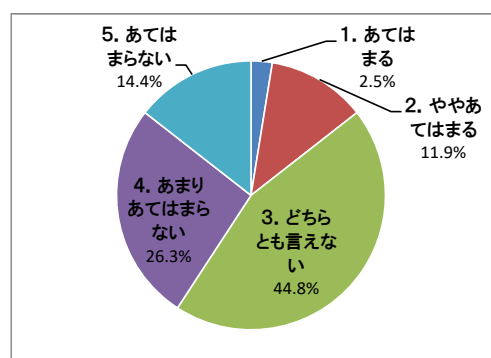
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	26	7.4%
2. ややあてはまる	55	15.6%
3. どちらとも言えない	140	39.7%
4. あまりあてはまらない	81	22.9%
5. あてはまらない	51	14.4%
合計	353	100.0%



【問6】(2) お住まいの市・町では、新しい事業を始めたり、新しい商品・サービスを生みやすい環境が整っている。

(回答チェックは1つだけ。 n=353)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	9	2.5%
2. ややあてはまる	42	11.9%
3. どちらとも言えない	158	44.8%
4. あまりあてはまらない	93	26.3%
5. あてはまらない	51	14.4%
合計	353	100.0%



【問7】産業振興施策について、ご意見がありましたらお聞かせください。（抜粋）

・こんな商品があったら良いと思う物がいくつかあるが、アイデアは頭の中だけで、具体的に進めていく事が難しい。子育てや介護で忙しい主婦ほど、アイデアは思い浮かぶが、発信する機会なく、時間が過ぎていく事が多いと感じる。埋もれている宝のアイデアを吸い取る仕組みが、あったら面白い。

・愛知県豊橋市では「高校生技術アイデア賞」を設定し、将来を担う高校生が、ものづくりへの関心を持つことや、探究心や創造性に富んだ人材を育成することを目的として、個人・グループ・クラブなどで考えたものづくり・科学・理科・農業・林業等に関するアイデア・作品を募集し、表彰されるという事業を実施されています。学生の時分から地元の産業に興味を持つことが、県産業の振興に大きく関わってくると思います。このコロナ禍で自粛を求められる今だからこそ、ゆっくり探求したり、地元の産業に触れる機会を作ることでもできると思います。また、このような事業を実施し、子どもたちへアピールすることで、定員割れしている工業高校等への受験者数を増やすことにも繋がるのではないかと考えます。

・コロナ禍の後、インバウンドに大きく頼らずに観光振興が必要です。県内での移動・消費についての仕掛けへの取組を希望します。ビワイチや部分的なビワイチによる観光振興を各市町で協力して進めることを検討してはいかがでしょうか。

・社会的課題をビジネスで解決することを目指す姿にすることはとても良いことで、そこから滋賀らしい取り組みに進化させていくことが大切だと考える。その観点から滋賀のビジネスメッセを今後どうしていくのかを考えていかなければならないだろう。私見としては、環境分野だけではなく、IT分野も含めたメッセの開催をしてほしい。また、開催方法もオンラインの導入も検討に入れてみてほしい。

・大阪府から引っ越し、1991年1月から大津市に住んでいます。京都へ通勤していました。滋賀県に住んで良かったのは、子育てに良い自然環境・施設があることです。水がおいしい。びわ湖の周りには、子どものくに、琵琶湖博物館、比良山げんき村、ガリバー村、彦根城、伊吹山スキー場などあります。産業振興は、工業ではなく、これら自然を活かした観光産業や近江八幡ハリエ・滋賀名産など食文化産業が良いのではないのでしょうか。琵琶湖博物館もリフレッシュされました。びわ湖を巡るビワイチもあります。各施設をリフレッシュして、日本全国から子どもや家族が訪れ、自然を体験できる滋賀県をアピールしてはいかがでしょうか。

・滋賀県の中には、歴史的に重要な場所や特産物があるが、全国展開に乏しいところがあり、情報発信を全国展開するために、各マスコミへの情報発信が重要であり、滋賀県出身者を限定ではなく、多く活用していくことをお勧めします。

・県主導で、メリハリをつけ、地場産業が発展するためのアイデア募集、その実行を公表しながら進めるのが良いと思います。恐らく既に実施されているのだと思いますので、更に、県民が認知できるような工夫が必要だと思います。

・滋賀県は災害も比較的になく、自然も人も充実して、第1次産業から第3次産業までの労働がしやすい基盤があるので、新規参入ももっとしやすいように力をいれるべきと感じる。

・産業振興施策についての難しさが、滋賀県のホームページを読んで知ることができました。人口減少・高齢化がこの先進むことを考えると、さらに大変さが分かりました。

・滋賀県にはお城やお寺など、歴史的に興味深いところがたくさんあって、そこで他府県の車を見ると嬉しい気持ちになります。観光地に行く時はだいたいホームページなどで調べてから行くことが多いですが、駐車場の情報が載っていない場合もあるので、載せてもらうほうがありがたいです。また、観光地のバリアフリー情報がわかるサイト、または観光地のホームページにバリアフリーについての記載があれば便利かと思えます。できれば観光地のトイレをバリアフリー化してもらえたらいいなと思います。

・周辺の市町村に比べると店舗数や公共交通機関など不便だと思う。老後は買い物難民になりそうで少し不安がある。しかし自然がたくさんあり、子どもたちにとっては良いと感じている。自然環境を守りつつ、老後も安心して過ごせるような環境にしてほしい。

・環境保全を意識した持続可能な新しい事業を創造する必要があると考えます。

・趣旨と異なるかもしれませんが、滋賀の産業を活性化させる、活気ある町づくりをする、観光客を集客するためには、交通の便をよくすることが最優先だと思います。バスの本数が滋賀は少ないし、自転車や歩行者の道が狭かったり、舗装がされてなかったり。車道路も渋滞している所が多いように思います。

・現下のコロナ禍の状況ではITの活用は避けては通れないと思う。ともすれば今までIT産業などは東京をはじめとした大都会に集中していたが、リモートワーク等の推進により地方でも活躍の場が広がる素地が出来つつあると感じる。そんな時だからこそ、このタイミングで県が音頭を取ってIT産業の育成に力を注いでほしい、IT産業は既存の産業にとって代わるのではなく、既存の産業に大きな影響を与え、より進化した形態に変わっていくための刺激・起爆剤になると思う。ぜひIT産業の育成をお願いします。

・設問を受け、改めて今住んでいる大津市はどうか？を振り返ることができました。コロナ禍に於いて、ほぼ市内から出ることなく、徒歩と自転車で行動しており、地域を見直すいい機会になったかも知れないと思っています。琵琶湖をたたえ、公共施設はほぼ徒歩と自転車で行かことができ、贅沢を言わなければ買い物施設や食事にも困りません。ホールや博物館もあり、芸術に触れることもできます。とてもバランスのいい街だと思いますが、少し自由がきくようになると、「電車で京都まで行けば」とか「車で大型ショッピングモールがあるから」と、つい地元のことを置き去りにしてしまいがちです。コロナ禍でいかに地域産業が大事か、地域を大事にしてくれる企業があるのかが体感したことを忘れず、そういったお店や企業を支援する行動をしていくつもりです。